



学校だより 月花星

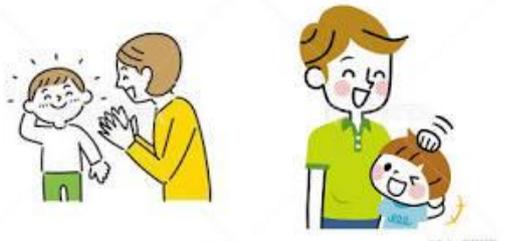
「ほめ上手は、叱り上手」のすすめ

校長 亀山 正

子どもたちは、学校でもご家庭でも、いろいろな活動をしています。そして、ご家庭でも「よく頑張っているな」「これだけであれば十分だ」と思うことをした時、保護者の皆さんは、どうされていますか。(自分が子どもならどうするか、考えてみると答えが出てきそうですね。) そんな時は、「大げさに」「即座に」励ましたりほめたりしてください。

その際、されて嬉しいことをしてやるのも、効果的なほめ方です。ただし、あくまでも、ほめられることをした場合です。

- 1, 社会的なもの(褒め言葉や笑顔、拍手等)を与える。
- 2, 身体的なもの(触れる、なでる、握手等)を与える。
- 3, 食べ物(好きな食べ物や飲み物等)を与える。
- 4, 本人が好きなことをさせる。(プレマック)



もう一つ大切なことは、「**お子さん本人そのものの存在を認めること**」です。

- ・自分**は**、ここに**いるべき人間だ**。
- ・周りの人は、自分の存在を喜んでいる。
- ・自分の存在が、家族に**幸せをもたらして**いて嬉しい。

こういった「**生きること**」を支える感情を育てることです。そのためには、お子さんのある行動に対して、「〇〇してくれて嬉しい」と感謝を伝えたり、失敗に対しても「そういうこともあるさ」とねぎらったりして、「感情」をしっかり受け止めたりすることが、重要だと思います。「生きること」を支える感情を育てると、勉強ができなかった時や運動でうまくいかなかった時も、心が折れることはありません。

さて、お子さんの行動で、制止したり叱ったりすることが必要なこともありますよね。基準は、家族にとって、または関わる周りの人にとって、自分にとって、危険である時、よくない行動である時です。それを叱る時は、「**強く**」「**短く**」「**きっぱりと**」が**基本**です。(ただ、「強く」言うことが当てはまらない場合もあります) じんわりと始まり、ぷつんと切れ、いつまでもおさまらないという叱り方は、効果がないだけでなく、かえって問題行動を強めてしまいます。

しかし、叱るというのは、叱る方も叱られる方も、「あまり気分のよいものではありません。そこで、結局は「**ほめ上手は、叱り上手**」ということになります。お子さんのよい点に注目し、機を逃さずに即座にほめることが、問題行動を減らします。よい行動が増え、問題行動をしている暇がなくなるからです。それらをうまくやる方法として、次の方法があります。

- ・ お子さんの関心を上手に使い、「いいな」と思う行動にはたつぷりと関心を示し、「困ったな」という行動はできるだけ無視をする、または知らないふりをする。(ちょっと根気が要ります)
 - ・ よい行動と悪い行動を区別し、子どもに知らせ、対処する。(ディファレンシャルと言います)
 - ・ もう一つは、困ったなという行動以外の全ての行動を、認めたりほめたり励ましたりする。(これも根気が要ります)
- ※ これらの方法は、「ディファレンシャル・アテンション」と言われています。

「ほめ上手は、叱り上手」をご家庭でもやっていただき、お子さんが「自分は認められていて、素晴らしい存在だ」と思えるようにしていただければと思います。これからも、学校とご家庭で連絡を取り合い、やっていきましょう。よろしくお願ひします。

フジコーポレーション様から、除雪機を寄贈していただきました！

9月19日(木)の午後に、フジコーポレーション様にご来校いただき、除雪機を寄贈していただきました。今年の冬は、大雪になるのではないかと予想されています。その場合、この除雪機が活躍して、降雪の時の玄関付近が除雪されれば、1日の学校生活の始まりと終わりが、スムーズになります。フジコーポレーション様、大変ありがとうございました。



【子どもたちも、おうちの方も、頑張っています！（敬称略）】

◇第17回 燕・弥彦 PTA 連絡協議会親善ソフトバレーボール大会

フレンドリーリーグ 優勝 JDM

今月14日に、萬会館燕店で、租税教育推進校として、巻税務署から小池小学校が表彰されました。6年生の子どもたちも、租税コンクールに多数応募をして、公益社団法人燕西蒲法入会、燕西蒲法入会女性部会から、よい賞をいただきました。

◇第9回 税に関する絵はがきコンクール(6年のみ) 金賞 今井 みい 銅賞 八木 美羽

けんた君賞 加藤 望花 神田 琉花 熊谷 叶羽 熊谷 理名 熊谷ゆずあ
齋藤 陽太 坂井龍志郎 本多 遥

【お知らせとお願い】

冬も間近で、2学期も終わりに近づきましたが、大切なことですので、下記の点をよろしくお願ひします。

- 1, 「忘れ物は取りに来ない」ことを、昨年から今年の春先にかけてお願ひしました。最近では、忘れ物を取りに来るお子さんが、ほとんどいません。ご家庭でお子さんにお声掛けしていただいたおかげです。ありがとうございます。
- 2, 筆箱の中身についても、年度当初にお願ひしました。学習に不必要なものを持ってこないことが身に付きつつあります。ただ、学習に必要なネームペンがない、鉛筆を削っていない等の子どもも見受けられます。ご家庭でもチェックしたり、声を掛けたりすることを、引き続き、お願ひします。
- 3 登校についてです。4月の学校日よりもお知らせしたように、小池小学校では、登校班で歩いている登校を基本としています。(学区外通学の場合や特別な事情がある時には、自家用車での送迎も可としています)春先は、登校班で歩いて登校する子が昨年度よりも多く、よいことだと感じていましたが、最近、歩いて登校できるのに自家用車での送迎をされるご家庭もあるようです。子どもたちから、「ぼくは歩きたかったんだけど、登校班のみんなが車で行くってなって、一人だったから歩いて来れずに、車で来た」という声も、聞きました。また、徒歩での登校を推奨しているのは、下記の理由もあるためです。

- ・ 職員駐車場や道路が混み合い、車同士の事故、または、中学生の自転車との接触事故の確率が高くなるため
- ・ **徒歩での登校について難儀さを感じていても、ほんの少しの難儀をさせ成長させていくことが大人の役目でもあるため**

登校班での徒歩の登校が当たり前となるよう、ご理解・ご協力を、引き続きよろしくお願ひします。